

4月記者懇談会

令和7年4月28日(月)

11時00分～11時55分 203会議室

出席者：みのわ新聞、長野日報、伊那ケーブルテレビ、信濃毎日新聞、中日新聞 事務局：唐澤、鈴木、小笠原

町長月間予定（総務課）

○月間行事予定の説明

町の主なトピックス（担当課PR分）

- 箕輪町こども計画について（子ども未来課 支援係）
- みのわBOSAIFESTAについて（総務課 危機管理係）
- 防災ハザードマップの改訂について（総務課 危機管理係）
- ひきこもり家族教室について（健康推進課 健康づくり推進係）
- みのわテラスの取組状況について（みどりの戦略課 未来農戦略係）
- みのわCM大賞について（企画振興課 みのわの魅力発信室）
- ふるさと納税について（企画振興課 みのわの魅力発信室）

町長コメント

1 箕輪町子ども計画について（子ども未来課 支援係）

○概要

別紙資料にて説明

子どもまんなか社会の実現に向けた取組

＜箕輪町子ども計画＞

基本理念

すべての子ども・若者が 心も体も幸せに暮らす 子どもまんなかのまち

基本目標

子ども・若者の権利が守られ、安心して生活できる

- ・ 子ども・若者の権利への理解促進
- ・ 多様な遊びや体験・活躍できる機会づくり
- ・ 切れ目のない保健医療福祉教育の支援体制
- ・ 子どもの貧困対策
- ・ 障がい児・医療的ケア児等への支援
- ・ 児童虐待防止対策
- ・ ヤングケアラーへの支援
- ・ 子ども・若者の自殺対策、犯罪などから子ども・若者を守る取組
- ・ 多文化共生社会の実現

子ども・若者の
意見聴取と反映

子ども・若者が自由に意見できる
子ども会議

子ども・若者の

安心できる居場所づくり

自信や自己肯定感を育む支援

子どもまんなかまちづくり

庁内の連携体制の構築

役場や相談機関の一体的支援

個人・地域・さまざまな主体
の取組みや連携

各種イベントや地域の行事など

子ども・若者が
健やかに育つ
ことができる

- ・ 妊娠期から乳幼児期への支援
- ・ 学童期・思春期への支援
- ・ 青年期への支援

子育ての喜びや
楽しさを実感
できる

- ・ 子育てや教育に係る経済的負担の軽減
- ・ 共働き・共育への推進
- ・ ひとり親家庭への支援
- ・ 地域子育て支援体制

<主な取組>

一部抜粋

妊娠期から乳幼児期にわたる教室・健診・相談事業や食育推進事業

子育て支援に係る経済的支援（おむつ用品購入助成、在宅保育応援手当、保育料・副食費の軽減/無償化、妊産婦の福祉医療費助成など）

ひとり親等に対する生活相談

障がい児者福祉サービスの適切な提供

SOSの出し方に関する教育事業／町のでんわ保健室事業

ひきこもり相談事業

一人1台PC活用による子どもヘルプデスク

不登校や多様なつまずきのある子どもへの連携した相談支援

安全安心なまちづくり推進計画策定事業

多文化共生推進計画策定事業

「子どもまんなか社会」の実現に向けた取り組み

めざすところ

取組

子どもまんなか社会の実現

子どもの権利や生活を守る視点と子どもの健やかな育ちを支援する視点を柱とし、権利が守られ、子どもの声に耳を傾け、子どもを一人の主体として意見を聴く、共有できるまちを目指す。

＜子どもの意見反映の取組＞

・【新】町の体制整備
子どもの意見反映の重要性や方法を町職員が認識し、実践するための研修等を実施。子どもの意見反映のスキームを整える。

・子どもの意見聴取

子ども・子育てイベントや、いわゆる“子どもの居場所”に出向く／子ども会議

・施策の反映

子どもの意見の汲み取り、実現可能な施策に調整し、フィードバック

＜子どもの悩みを取りこぼさない支援体制の充実＞

・出張子ども相談室

町内保育園や小中学校に、子ども相談職員が巡回

・ヤングケアラー調査

小学校高学年～中学校の児童生徒を対象に、匿名調査を実施。

・周知資料の作成

困りごと相談窓口を周知するためのリーフレット等を作成

＜普及啓発＞

・町子ども計画の周知

子ども向け版・おとな向け版の子ども計画の概要版を作成

・【新】家族全体で子育てを楽しむための講演会

地域全体で子ども・子育てを応援するしくみづくり

子育て当事者だけでなく、地域、企業も含めた町全体が連携した活動を通して、子育ての喜びや楽しさを実感できる。

＜地域・企業の取組の推進＞

・子どもの居場所づくり推進事業補助金

子ども食堂などの実施者に対し、補助金を交付。

・子育て支援先進的な取組事例の展開

支援者交流会等を実施し、町内外企業や団体の子育て支援の取組の共有を図る。

子育て安心サポーター登録制度による取り組みを広報

・【新】安心して外出できる環境整備

町内の金融機関・商業施設などにおける授乳やおむつ替えができるスペースをわかりやすく表示するステッカーを配布

・【新】子どもまんなか社会講演会の開催

子どもの思いを受け止める「子どもまんなか社会」について、住民向け講演会を開催し子どもとおとなも理解を深める

(担当) 令和5年4月にこども基本法が施行され、それと同時期に箕輪町ではこどもに関する条例の検討を始め、令和6年4月に箕輪町こども・子育て応援条例を施行しております。

こども・子育て応援条例による地域全体で子育ての楽しさや喜びを実感しながら子育てできる地域づくりとこの基本法にあるこどもまんなか社会、この二つの実現を目指してこども計画を策定しました。令和7年4月から令和12年3月の5ヶ年計画となっております。

最初にこどもまんなか社会普及啓発のための講演会を6月28日に行います。

8月3日にはこども計画期策定記念として、子育てを楽しむことを地域に普及するための講演会を予定しております。

町長より

こどもまんなか社会の中のこどもの意見反映を、行政政策の中で具体的に実施したことがあまりなく、それをどうやってやるのか、当面は教育委員会と調整をしながらやっていくように思っています。

もう一つの課題は高校生とか若者が計画の守備範囲に入っていますので、高校生以降町外に出ていく多くのこどもたちの意見聴取をどういった形で進めていくのか、意見を政策の中に取り込んでいくというのも今までなかなか実施してきておらず、これらを一度にはできるとは思っていますが、この計画の中に書き込みましたので、意見聴取や政策への取り込みを念頭に置きながら、やっていきたいと思えます。

妊娠出産から子育てまでのそれぞれの政策はかなり充実してきていますので、必要な政策は、皆さんの意見をいただきながら取り組んできたいと思っています。

○質疑応答

(記者) こどもの権利擁護に関する機関の設置の予定はありますか？

(担当者) 今のところ、こどもの権利擁護に関する機関を設置するということは計画をしておりません。また要望等があれば考えてはいきたいとは思いますが、現時点で計画の中には入っておりません。

2 みновBOSA I フェスタについて（総務課 危機管理係）

○概要

別紙資料にて説明

資料

箕輪町発足70周年記念

みновBOSA I フェスタの開催

○ 目的

予測不能な大規模災害に備え、防災に関して多くの住民に関心を持ってもらい、自助、共助の精神を高め、だれ一人取り残さない防災対策を構築するため。

○ 開催日時

令和7年5月24日（土） 午前10時～午後4時

○ 開催場所

箕輪町文化センター、地域交流センター、地域交流広場、箕輪町役場駐車場

○ フェスタ内容

第1部

各種防災イベントの実施、防災関係車両、防災関連機器、防災グッズ等の展示ほか

第2部

防災講演会の開催

第1部の内容

○ こども向け体験型防災イベント（実施者：イベント業者『IKUSA』）

開催時間 午前10時から午後4時

開催場所 箕輪町文化センター

イベント内容 『防災ヒーロー入団試験』

小学生以下を対象

先着200人

入団試験に合格した挑戦者にはオリジナル缶バッジをプレゼント

○ 避難所体験および防災ボトル作成体験（実施者：地元防災士、地元防災有識者）

開催時間 午前10時から午後4時

開催場所 箕輪町文化センター

イベント内容 実際の避難所の室内を模して避難所における不自由な生活を体験

避難に必要な物品をボトルに詰める防災ボトルの製作

VRを使用して模擬浸水体験、模擬火災体験

○ 煙体験コーナー、消火器による消火体験コーナー（実施者：箕輪町消防団）

実施時間 午前10時から午後4時
実施場所 箕輪町役場駐車場
イベント内容 煙体験用のハウスを使用して火災の模擬体験
水消火器を使用しての消火体験

○ 防災車両、防災パネルの展示（実施者：上伊那広域消防本部、天竜川上流河川事務所）

実施時間 午前10時から午後4時
実施場所 箕輪町役場駐車場
イベント内容 消防車両等防災車両の展示、防災関連パネルの展示

○ 自衛隊車両、人命救助セットの展示、制服等の試着（実施者：自衛隊長野地方協力本部）

実施時間 午前10時から午後4時
実施場所 地域交流広場
イベント内容 自衛隊車両（トラック）の展示、防災パネルの展示、人命救助
セット（暗視スコープ等）展示、制服、迷彩服の試着

○ 災害伝言ダイヤル171体験、各種通信体験（実施者：NTT東日本長野支店災害対策室）

実施時間 午前10時から午後4時
実施場所 地域交流広場
イベント内容 ポータブル衛星車での通信体験、スターリンク（衛星通信）体験、WEB
113体験、災害伝言ダイヤル171体験（子供にはガチャプレゼント）

○ 健康測定機による診断とビンゴゲーム（実施者：第一生命保険松本営業所伊那オフィス）

実施時間 午前10時から午後4時
実施場所 地域交流広場
イベント内容 測定器を用いての野菜摂取量診断、血管年齢診断の実施、防災関連のビン
ゴゲーム

○ 消防バイクの乗車・放水体験、火災非常ボタン体験（実施者：晴海産業株式会社）

実施時間 午前10時から午後4時
実施場所 箕輪町役場駐車場
イベント内容 消防バイクによる放水体験、火災報知機の作動体験

○ 防災用品、防災カタログの展示（実施者：コメリ災害対策センター）

実施時間 午前10時から午後4時
実施場所 箕輪町文化センター
イベント内容 災害関連用品、カタログの展示

○ 災害パネルの展示（実施者：砂防ボランティア協会）

実施時間 午前10時から午後4時
実施場所 箕輪町文化センター
イベント内容 防災パネルの展示・説明

第2部の内容

○ 防災講演会の開催

開催時間	午後1時30分から午後3時30分
開催場所	箕輪町文化センターホール
講師	福和 伸夫（ふくわ のぶお）氏 （名古屋大学名誉教授、あいち・なごや強靱化共創センター長ほか）
演題	『自助・共助で巨大地震に備える ～過去の大災害に学ぶ～』

その他の内容

○ キッチンカーの出店

出店時間	午前10時から午後2時
出店場所	地域交流広場
出店業者	豪雨災害の現場に炊き出しに向いた車両や、長野市赤沼の被災地ボランティアに向いた車両等が出店します。 その他、地元の業者が出店予定 合計7店
メニュー	ロングポテト、トルネードポテト、揚げパン、ブリトー（カレー、ナポリ、シーザー味など）、から揚げ、ポテト、各種ソフトドリンク等 五平餅、フランクフルト、スパイスカレー、富士宮やきそば、タピオカサンド、タピオカドリンクほか

（担当）予測不能な大規模災害に備え、防災に関して多くの住民に関心を持ってもらい、自助、共助の精神を高め、誰1人取り残さない防災対策を構築するために防災フェスタを開催いたします。

町長より

メインは小学生以下のこどもたちに防災、災害について学んでももらいたいです。

もう一つは、講演会に福和先生をお呼びしていますが、南海トラフの中央防災会議の作業部会の中心的なメンバーであり、今後の防災対策についてお話いただけるということでお呼びいたしました。その二つをメインにしながら、いろんな体験をして、災害防災ということについて、身近に感じていただくよう開催するものであります。

3 防災ハザードマップの改訂について（総務課 危機管理係）

○概要

別紙資料にて説明

資料



箕輪町防災ハザードマップ改訂について

総務課 危機管理係

主な変更点

地図面

- ・ 桑沢川、深沢川、帯無川の一級河川の浸水想定区域の変更
- ・ 要配慮者利用施設等の追加・改良

情報面

- ・ 備蓄品・持ち出し品チェックリスト、防災メモの改良
- ・ 氾濫危険水位(2.6m→3.1m)及び避難判断水位(2.4m→2.6m)の緩和
天竜川上流河川事務所と長野地方気象台による運用変更 令和6年4月1日～
 - ・ 河川改修工事の完了箇所の反映
 - ・ 河道データの更新
 - ・ 出水を経験したことによる水位上昇速度の見直し による。

地図面

浸水想定区域の拡大・浸水深の変更

3つの支川(桑沢川、深沢川、帯無川)について、令和4年に浸水想定区域の想定雨量が「100年に一度の大雨(L1)」から「1000年に一度の大雨(L2)」に改められた。これにより改定後のハザードマップでは当該流域の浸水想定区域に大きな変更があった。

浸水想定区域の想定雨量について

- ・ L1(概ね100年に一度程度起こる大雨)
天竜川:48時間で250mmの降雨 沢川:24時間で200mmの降雨
桑沢川、深沢川、帯無川:1時間で59mmの降雨

- ・ L2(概ね1000年に一度程度起こる大雨)
天竜川:48時間で605mmの降雨 沢川:24時間で798mmの降雨
桑沢川、深沢川、帯無川:24時間で836mmの降雨 →

新基準＝改訂版に反映

今後の展開

外国語翻訳版の作成

現在、下記の5か国語について翻訳版を作成中。

- ・英語
 - ・ポルトガル語
 - ・ベトナム語
 - ・中国語
 - ・インドネシア語
- ⇒町の外国籍人口上位5か国の公用語

外国籍の町民が確認できる態勢を早急に構築する。

○町長より

ハザードマップは何年かに一度更新をしていることと、先ほど説明した事情もあって、浸水想定区域が変わりましたので、変更させていただきました。

天竜川全体からみますと、三峰川合流点から上流がまだまだ幅が狭く、安全性が十分とは言えないですが、最近天竜川上流河川事務所の方でかなり掘削だとか、工事をしていただいてだいぶ安全度が高まってきて、今回の避難判断水位の2.4mから2.6mへの変更等ができました。まだまだ決して十分ではありませんが、今回の氾濫危険水位等の緩和は我々にとってもありがたいと思います。

一方で、町内の河川は非常に小さな河川ですので、一級河川とは言いながら、浸水想定区域がだいぶ広がっています。住民の皆さんには1000年確率ですので、やむを得ませんけども十分周知をしていきたいなと思っています。

○質疑応答

(記者) いつ以来の更新になりますでしょうか。

(担当者) 前回の更新は令和4年度になります。

(記者) 今回、河川事務所の運用が変わったことによって、天竜川に関しては若干基準が緩和され、町内の河川に関しては1000年に一度の想定にしたことによって、浸水想定区域が広がったということよろしいでしょうか。

(担当者) そのとおりです。

(記者) 広報誌「みのわのみ」と一緒に配布ということですが、他で配布したりすることはありますでしょうか。

(担当者) 新たに転入してきた方向けに住民係で配布する予定になっています。

(記者) 一級河川で浸水想定区域が広がりましたが、具体的にどれくらい広がったか、面積等わかりますか。

(担当) 図で示すことはできないですが、具体例で言うと、松島コミュニティセンターあたりは、前回までは全く入っていなかったところに帯無川の浸水想定が伸びてきています。また、中には前回全く指定のなかったところがいきなり1m以上の浸水想定区域になっているという箇所もあります。

4 ひきこもり家族教室について（健康推進課 健康づくり推進係）

○概要

別紙資料にて説明

資料

ひきこもり家族教室のご案内

接し方などを学びませんか？

ひきこもりのきっかけは人それぞれ

過去の傷つきなどから心と体を休めるために「ひきこもる」という選択は、時として必要な場合もあります。そのうちに、周囲に適応しづらくなってしまふこともあるかもしれません。誰も「このままでいい」とは思っていない。



令和7年度 ひきこもり家族教室

第1回 5月30日（金）
第2回 6月18日（水）
第3回 7月23日（水）
第4回 8月22日（金）
★時間：13:30～15:30

★場所：箕輪町保健センター

※第1回～第4回がセットですが、ご相談ください。

要申込み

どう接したら...？

親亡き後が心配

つい指示してしまう...

どこがいけなかったのか...

あなたのせいではありません。
一緒に学んでみませんか？
※参加される方の秘密は守られます

大変お手数ですが、ご参加いただける方はご連絡いただきますようお願いいたします

お申込み・お問合せ
箕輪町役場 健康推進課（担当 小林）
電話 0265-79-3118
メール kenko@town.minowa.lg.jp
窓口 箕輪町役場 健康推進課（4番窓口）

（担当）箕輪町は自殺率が全国や県と比較して高い傾向にあります。自殺の背景には社会的孤立や精神的な不安が複雑に関係しており、特にひきこもり状態にある方やその家族は深刻な孤立のリスクを抱えています。

ご家族やご家庭が安心できる存在や居場所であると感じてもらえれば、ご本人の心の安定や自身の回復に繋がることがあります。そのためには、ご家族自身がゆとりや楽しみを持つことも大切です。そこで箕輪町は全4回にわたる引きこもり家族教室を開催いたします。

○町長より

ひきこもり対策については去年あたりから積極的に実施をしてきました。まずは、受ける側の町の保健師に研修会を重ねてもらって、今度は地域へということですが、町の自殺率が非常に高く、県の率よりかなり高い位置にあります。

ここ数年でもそういう状況で改善をしなければいけない状況にあります。それと、町の保健師が何らかの関わりを持って、引きこもりとして認知している方が、今50人ぐらいで、男性30人、女性20人ぐらいと男性が多いですが、統計上から見ると、200人レベルまでいるのではないかという状況です。

数値ですので、家族の方も外にあまりお話をしないということもありますので、なかなか町が把握しにくいということもあります。この 50 人の中でもご本人に会えるというのはわずかでして、家族に会えるのがやっとというような状況もありますので、家族の横の糸を結ぶということができないかなと考え今回開催します。何とか家族に出てきてもらって、家族が学んでもらって家に帰って対応できるように、そして保健師が出向いていけるようなそんな方向に持っていくことにしたいと思います。

5 みんのわテラスの取組状況について (みどりの戦略課 未来農戦略係)

○概要

別紙資料にて説明

資料

みんのわテラスの取組状況について

R7.4.28_みどりの戦略課

令和6年度の成果

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	前年比
来場者数	11万2,026人	12万4,103人	14万6,577人	15万1,076人	103.1%
総売上	2億3,884万円	2億6,477万円	2億7,624万円	2億7,892万円	101.0%
学校給食 納入額	757万円	1,483万円	1,580万円	2,009万円	127.2%

【その他の成果】

- ・みんのわテラスマーケット（月例イベント）の定着
- ・学校給食地産地消率：46.2%（R5：54.6%）
- ・箕輪町給食食材供給推進補助金の継続実施
対象者 22人
売上金額 1,993,267円
補助金額 300,795円
- ・イベント出店者の情報発信等による、みんのわテラスの認知度向上
- ・インスタグラムフォロワー R7.3末 3,081人（前年同月比143%）

令和6年度の取組

- ・テラス全体：みんのわテラスマーケットの継続開催
みんのわテラス一帯のPR（SNS・公式HP・広告等）
みんのわテラス一帯のブランド化
給食食材供給補助、平日・閑散期の集客促進
- ・やまびこテラス：月替わりメニュー展開、毎週定休日めん処出店、いちご狩り事業
デザートメニューの充実、テイクアウトの充実
- ・ファームテラス：売場レイアウト・販促物の改善、直売生産者の増加のための取組
- ・サイクルテラス：新たなターゲットに向けた商品展開、観光客向け事業の展開
- ・テラスすたんど：スイーツの売上増を狙ったイベントの実施
規格や容器の見直しによる多様なニーズへの対応



令和7年度の取組

- ・みんのわテラスマーケットの継続開催（毎月第1土曜日）
⇒多様な主体と連携したイベントを検討
- ・学校給食への供給推進
⇒供給推進補助金制度の継続実施
- ・環境にやさしい農産物の取組促進
⇒認定生産者の増と制度活用による差別化
- ・総売上3億円を狙った各施設の取組と連携強化（食・体験・買い物）
- ・周辺農地との連携強化（体験・加工・販売）
- ・緑地無料貸出による活動の場の提供と賑わいづくり

道の駅登録と第2期開発に向けた取組

- ・既存の施設や周辺農地の活用を踏まえた、一帯の2期開発の基本計画を明確化するとともに、まずは「道の駅」に必要な最低限の機能を整備します。
（案内・サービス施設、ベビーコーナー、24時間利用可能なトイレ）
- ・施設利用者の利便性向上のため、必要な整備を行います。
（EV充電器、駐車場看板 等）
- ・2期開発によって平時から賑わいのある場所となるよう、必要な機能や施設整備を検討します。

○町長より

令和3年のリニューアルの際に最初から道の駅にしようと思えばできましたがやりませんでした。やらなかった理由は、まず町民にとっての賑わいの場所を作るということを最初のコンセプトにしたので、観光地化するという意味合いを最初は少し抑えようと思っていました。いかに認知度を上げて町民の皆さんがそこを訪れて、楽しんだりする、その賑わいの場所にできるかということが一番のメインで、そういう状況が作り上げられてきたので、これからは町民の皆さんだけではなく、外から来る方や観光的な要素も取り入れて、箕輪町としての発信力をそこから出していきたいというようなこともあって、道の駅にしたいと思っています。

令和8年度に道の駅を目指して、取り組みをしており、いくつか入れなければいけない要素がありますが、観光のための道の駅にするというイメージは持っていません。できる限り地域の皆さんに使ってもらったり、楽しんでもらったりすることが一番のメインです。上伊那北部には大芝高原以外に道の駅はありませんので、そういった点から見ますとやはり観光客もここでワンストップするということも必要だと思い、今回の取組みをさせていただきます。

○質疑応答

(記者) テラスマーケットについて、最近店舗募集の方法等もちょっと変わってきていると思いますが、このテラスマーケットにいろいろな要素を取り入れて方向性を変えていく感じか、それとも拡大をしているいろいろな要素を組み込んでいくのか、どのようなイメージになりますか。

(担当者) ここ数年、特に親子やこどもをターゲットにしたイベントが多かったですが、幅をもう少し広げるということ考えています。ただスペース的な上限もあるので、規模を拡大するところまでは考えていない状況です。

6 み の わ C M 大 賞 について (企画振興課 み の わ の 魅 力 発 信 室)

○概要

別紙資料にて説明

資料

『みのわCM大賞』概要

企画振興課みのわの魅力発信室

【応募要項】

1 募集作品について

箕輪町の特徴を表現し、かつ、募集テーマに沿った30秒間の未発表CM（コマーシャル）作品。

募集テーマ：70周年記念テーマ「つなぐ えがく み の わ の 未 来」がイメージされるもの

※応募作品には、必ず「20字以内のタイトル」を明記してください。

※作品時間は1作品30秒間

※スマートフォンでの撮影、家庭用・業務用ビデオ、静止画像も可

2 応募資格について

箕輪町の住民、勤務者、学生・生徒等が制作した作品に限ります。

営利団体が制作したもので、営利団体の宣伝等に寄与するものは除きます。

3 締切について

2025年7月18日（金）必着とさせていただきます。

4 審査について

審査会：2025年8月9日（土）

場 所：箕輪町文化センター

審査員：同日行われるフィルムフェスティバルにご来場の皆さんに審査いただきます。

※応募作品が多数の場合は事務局による1次審査を実施します。

5 応募・提出方法について

応募される方は次の応募フォームに必ずご入力ください。

URL：<https://logoform.jp/form/6gRD/1000380>

提出方法（2パターン）

①当町指定のファイル共有サービスに動画アップロード

または

②DVD等に収録し、持参又は郵送

※応募フォーム内で「当町指定のファイル共有サービスに動画アップロード」を選択された方に後日、提出方法を別途ご案内いたします。

※DVD等に収録し、持参又は郵送で提出される場合も応募フォームへ必ず入力ください。

※動画提出時に著作権チェックシートを合わせて提出してください。

6 各賞について

最優秀賞

「みのわCM大賞」1作品

副賞：賞金5万円 + 「ふるさとCM大賞NAGANO」箕輪町代表作品として応募

優秀賞

「優秀賞」1作品

副賞：賞金3万円 + 「ふるさとCM大賞NAGANO」箕輪町代表作品として応募

7 その他

応募にあたり、町ホームページに掲載された「開催要項・応募要項」・

「応募作品 制作上の注意」・「著作権チェックシート」を必ずご確認のうえお申込みください。

7 ふるさと納税について（企画振興課 みのわの魅力発信室）

○概要

別紙資料にて説明

資料

令和6年度ふるさと納税実績報告について

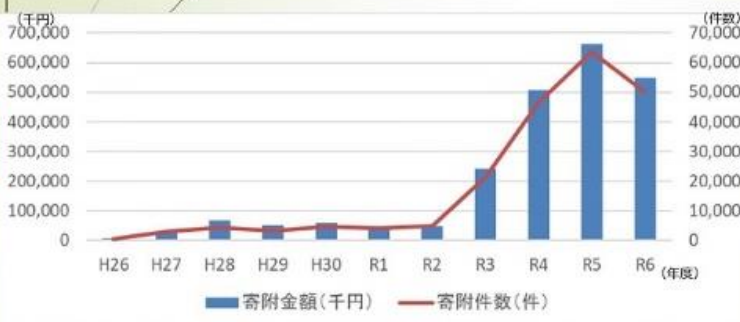
2025.04.28
みのわの魅力発信室

1 令和6年度実績

○寄附件数：50,093件（前年比 78.6%） ○寄附金額：548,967千円（前年比 83.0%）

2 寄附金額及び件数の推移

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
寄附金額(千円)	5,361	29,270	67,611	49,139	57,257	42,064	47,659	240,641	507,522	661,638	548,967
寄附件数(件)	452	2,848	4,414	3,205	4,649	3,941	4,830	21,572	46,562	63,731	50,093



- 寄附額減少の主な要因
 - ミックスナッツの値上げによる寄附数の減少
 - りんご、梨の不作による受注停止
- 寄附額が増加した返礼品
 - ジェラート
 - 松茸
 - 米

3 箕輪町人気返礼品 ベスト5（令和6年度）

- 1位 ミックスナッツ2kg（ニチノウ食品）
- 2位 あいかの香り3kg（与古美）
- 3位 ジェラートセット8個入（ニチノウ食品）
- 4位 あいかの香り5kg（訳あり）（与古美）
- 5位 南水5kg（与古美）

※上位10品で全体の6割以上占めてます。

4 今年度の取組み

○新規開拓

- 新規事業者開拓
まだ登録に至っていない事業者の登録を進めていく

●新規返礼品開拓

既存事業者において新規での返礼品登録や開発を促していく

●体験型返礼品の開拓

実際に箕輪町へ来てもらえる返礼品を創出し
りんご狩り体験、木工体験など

○上伊那地域での連携

- 共通返礼品の開発

○PRについて

- 制度改正対策
10月よりポイント付与禁止のため、9月の駆け込み寄附に対するPR強化

●観光地でのPR

赤そばの里、もみじ湖等でのPR（チラシ、パネル等）

●ファームテラスでのPR

既存の「みのわコーナー」にふるさと納税返礼品を含めたレイアウトに変更、チラシ等を設置

●豊島区等でのPR

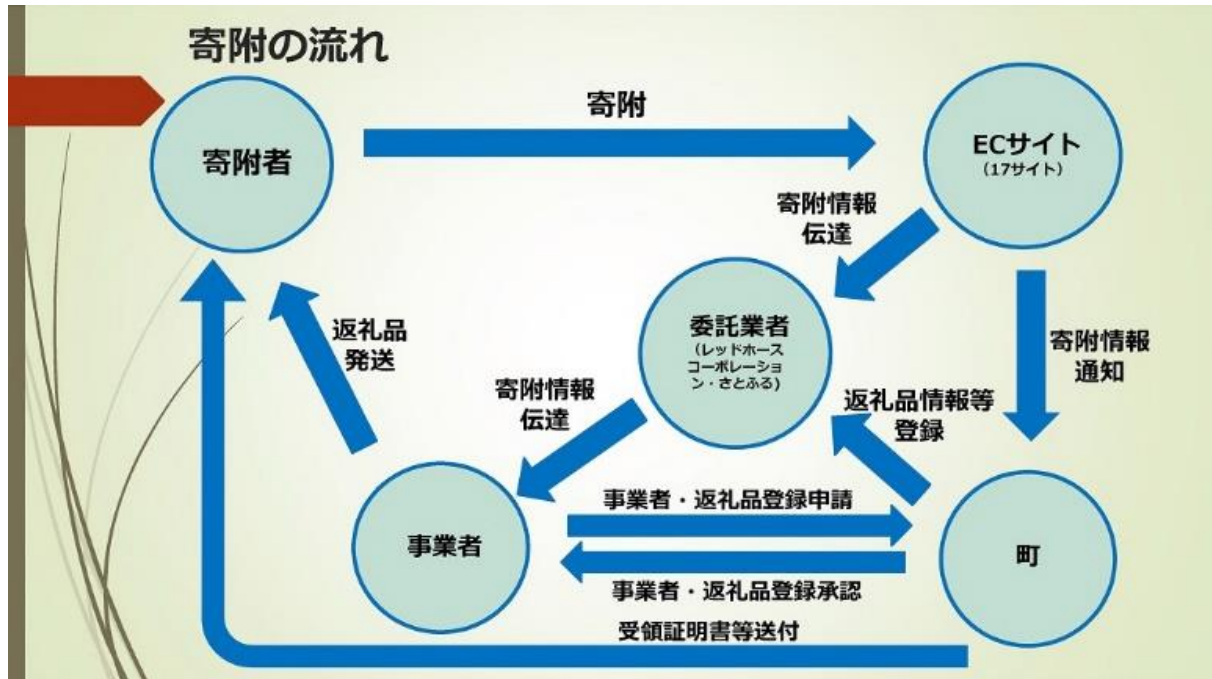
姉妹友好都市である豊島区等で実施されるイベントでのPR

●ECサイト運営企業が実施するイベントでのPR

各ECサイトで実施するイベントに積極的に参加する

●特設サイトの周知

カタログやお礼状を通じて、寄附者への周知



○町長より

5 億円、6 億円という寄附金をいただいている上は、適正にかつ寄附を多くなるようにとは思っていますが、町の資源等の問題もありますので、この辺が限度かなと思っています。また、新たな返礼品が出てくればと思います。

様々な課題に対応していかなければいけないと思っています。

○町長コメント

一昨日（4月26日）市町村対抗駅伝が行われ、町の部で9連覇、総合でも6位という結果でした。実は密かに上位入賞を狙っていましたが、若干の出遅れもあって、よく盛り返したなと思います。エースが出られなかったですが、町の部では圧倒的な勝利でしたので、引き続き頑張ってもらいたいですし、特に中学生等に頑張ってもらいたいなと思っています。

また町として対応しなければいけない一つにクリニックやホテル、工場用地の不足感があります。

クリニックについては7月に1ヶ所開業するということもあって大変ありがたく思っていますが、今一番の問題は、ホテルがないことであり、まだ手がつかない状況です。いろんなことをPRしていますがなかなか手がつかない状況です。

町で一番大きかった伊那プリンスホテルが一昨年に閉鎖し、昨年も宿泊施設が1つなくなったということもあって、ビジネス客を中心に伊那や諏訪方面に宿泊せざるを得ないような状況になっています。

提案をいただいたり、なんとかしていただきたいというお話もいただいておりますが、現状ではこの地域でホテルを作るという状況にはなく非常に困っております。何らかの糸口があればいいなと思っています。

同様に工場用地も全く同じ状況であり、進めなければいけないと思っており、本年度の大きな課題でございます。

もう一点、このところ目につくのが地域の団体や老人クラブの解散や休止が相次いでいることです。

高齢者の数、後期高齢者の数が増えています。介護認定率は大きく増えておらず、やや上昇傾向にあるという中、元気高齢者の皆さんの生きがい作りや仲間作りによる地域社会への貢献に対し、行政としてどの辺までできるか、壁に当たっている感じがします。

これも箕輪町だけの問題ではありませんが、高齢者の皆さん、特に前期高齢者の皆さんがほとんど働いていて、後期高齢になった途端に何かしろと言われてもなかなかできない状況で、特に男性に多い状況です。

今までの団体の多くは、地域の中で作られてきた組織ですが、それが今の高齢者の皆さんの考え方に合わないとか、それをもって生きがい作り、仲間作りになかなかならないというようなこと、またもう一つはその組織の中で役割、例えば役員になることが嫌だというようなことも相まってそんな状況に地域がなっております。

地域の元気さを失っていくことになるので、元気というか、普通の高齢者が対応できるような場所やきっかけを作っていけないと、ちょっと大変なことになるかなという気がしています。

どこまでどうやって広げていくか、地域の枠を広げてしまうかどうかという問題もありまして、また政策に関わる会議等で議論をしていきたいと思っていますし、解散をしたところ、今悩んでいるところの皆さんと意見交換もしていきたいと思っています。

もう一点、先週庁舎周辺のゼロカーボン事業が終了し、皆さんにも報道していただきましてありがとうございました。V2X とか EMS（エネルギーマネジメントシステム）とか、日本の中でもあまりないケースですので、これからも町としても PR をしていきますし、これを起点にして、他の公共施設や事業所や家庭への推進をしていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。